

令和2年10月30日

東松島市議会議長 大橋 博之 様

(会派名) 松桜会

代表者氏名 代表 小野 幸男



会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目(該当を○で囲む)

調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要望・陳情活動費、会議費

2 活動名称: 自治体議会特別セミナーin 仙台

3 実施期日: 令和2年10月29日(木)  
午後1時30分から午後4時30分

4 活動成果: 特別セミナーとして、議員の資質向上と政務活動費活用策に関する講義を受講し、今後の議会活動及び会派活動に資する成果を得られる事ができた。

5 添付書類: 別紙報告書のとおり



報告書

- 1.活動名称 自治体議会特別セミナーin 仙台
- 2.実施期日 令和2年10月29日(木)  
午後1時30分から午後4時30分
- 3.内 容

テーマ：議員の資質向上と政務活動費の活用策について

本研修では、議員としての基本的な取り組み等に関する内容のセミナーがありました。

その中で、憲法第93条（「地方公共団体には、法律の定めるところにより、その議事機関として、議会を設置する…」）に触れた講義があり、議会は熟議する機関であること、いかに「民意」を反映できるかが大きな課題とされていることを振り返ることができました。

また、議員は、議員力、議会力そして専門性を強化し、二元代表制の一翼を担う議会の活動について、一丸となって取り組み、市民の付託と信頼に応える必要があることについても、改めて再認識いたしました。

全国的にさまざまな問題が生じている政務活動費については、その交付額に関わらず、各市町村の定める条例の目的に沿った活動をしているか再確認すべきとの講義があり、本市においても、その必要性はあるものと確認しました。

さらに、セミナー以外の部分ではあるものの、研修には、仙台市議会（若手議員）を始めとした他議会の参加もあり、その方々との意見交換を行う中で、政令指定都市や他の自治体との予算規模による環境の違いについても感じることができました。

研修内容をはじめ、さまざまなものを知る、又は再認識することができた本研修はまさに「百聞は一見に如かず」。今後も本市の未来のため、努めていくことの大切さを確認することができました。